

CO2排出量の削減と資源の有効活用

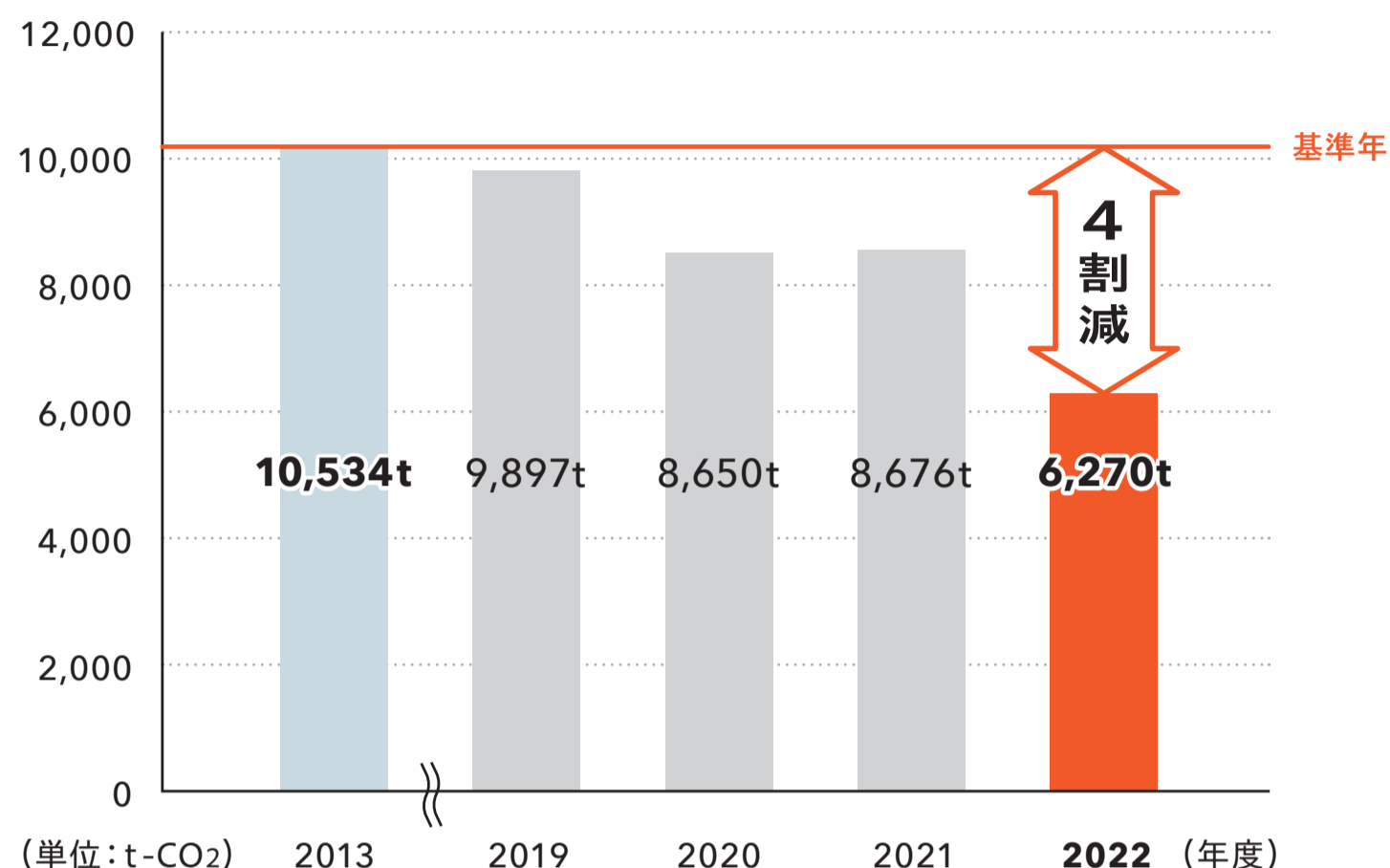
CO2排出量およびリサイクル率の推移

2030年までにCO2排出量50%削減（2023年度比）、2050年までにCO2排出量実質ゼロ（2013年度比）を目標としています。2022年度は、電力の見直しや老朽化設備の更新などにより、基準年である2013年度と比べて約4割のCO2排出量削減を実現しました。引き続き、省エネ設備の導入や節電施策、オフセットなどにより2050年度のゼロカーボンを目指していきます。

また、廃棄物については、排出量の削減に努めるとともに、リサイクル率の向上に取り組んでいます。食品廃棄物などの生ゴミについては、バイオ処理による発電や家畜用の配合飼料原料とすることで、100%リサイクルを行っています。

資源の有効活用については、ペーパーレス化の促進を継続するとともに業務の効率化やコスト削減も踏まえ、2022年4月から電子契約サービスの利用を開始し、契約書の電子化を行っています。

【下】CO2排出削減量 推移グラフ



【下】「ゼロカーボン・チャレンジ2050」施策内容

年度	資源利用		一般廃棄物			産業廃棄物		
	エネルギー (原油換算)(kl)	紙資源(kg)	総排出量 (t)	リサイクル 処理(t)	リサイクル率 (%)	総排出量 (t)	リサイクル 処理(t)	リサイクル率 (%)
2018	5,799	9,472	4,494	2,225	50	1,037	870	84
2019	5,569	9,338	4,386	2,234	51	1,079	979	91
2020	5,060	6,919	3,524	2,583	73	836	756	90
2021	5,032	5,875	3,459	2,344	68	833	723	87
2022	4,828	4,346	3,507	2,399	68	826	743	90

再生可能エネルギー

使用するエネルギー量の削減とともに、環境負荷の少ないエネルギーへの切り替えを積極的に進めています。大型ショッピングセンターであるセレオ各店では、2022年に環境負荷の少ないJR電力へ切り替えを行い、4割近くのCO2排出量を削減しました。また、CO2を排出しない再生可能エネルギーの導入

にも取り組んでおり、セレオ八王子では、壁面を使用した太陽光発電を試行として2012年から行っています。また、2023年度はコーポレートPPAによる風力発電由来の再生可能エネルギーをJR東日本グループのショッピングセンターとして初めて導入します。